

1-③ 国際的視点に立ち、自らの考えを発信できる力を育成する

取組 6	国際理解教育の充実
------	-----------

【担当所属：義務教育課 高校教育課 総合教育センター】

1 現状

急激に進展するグローバル化の中で、自らの将来を開拓していく子どもたちは、自国の文化を深く理解するとともに、他国の文化や社会情勢等について、積極的に理解をしようとする意欲と態度をもつことが必要です。本県では、多数の日系外国人が居住していることもあり、積極的に国際理解教育に取り組んでおり、ALTの積極的活用や、地域に居住する外国人の文化を取り入れた体験学習の実施等を推進しています。

今後は、我が国の産業構造の変化から、海外の大学への進学や、外国企業への就職が珍しくなくなる状況も想定でき、国際的な進学や就職に対応できる人材育成も急務となります。

また、著しい経済発展が進む東アジアの勢いを取り込み、本県経済の活性化につなげることを目指した「群馬県国際戦略」との関わりから、東アジア諸国との交流を視野に入れた国際理解教育をより一層進めさせることが求められています。こうしたアジア近隣諸国との交流活性化や県内に居住する日系外国人との共生に向けて、これらの国々の文化や言語にも児童生徒の興味・関心を喚起する必要があります。

(1) 小・中学校

「外国人とのコミュニケーションを図る能力の育成につながる体験的な学習活動」については、外国語活動が導入されたこともあり、全小学校で行われています。また、児童が授業外でも日常的にALT (Assistant Language Teacher) とふれ合う機会がもてるようになってきています。

平成25年度教育課程実施状況調査によると、県内の小学校の5割、中学校の3割が、総合的な学習の時間において、「国際理解」をテーマにした学習に取り組んでいます。

「地域に住む外国人との共生・相互理解」については、外国人児童生徒を多く抱える地域を中心に、総合的な学習の時間や特別活動等で多文化共生教育を進めています。

(2) 高等学校

① 県立高校では、姉妹校交流等の海外研修を実施しています。

・平成24年度に姉妹校交流等海外研修を実施した学校数 20校 (参加者計 301人)

② 平成24年度から「高校生留学支援事業」を開始し、国際感覚をもった群馬県の国際化に貢献する人材の育成を図っています。

・留学者数 (留学者：3ヶ月以上留学した者のこと)

H20	H21	H22	H23	H24
29人	17人	15人	13人	12人

※留学者数とは、3ヶ月以上留学した生徒であり、当該年度に出国した者と、帰国した者の合計です。

③ 県観光物産課との連携により、台湾からの修学旅行生との交流活動等を、実施しています。



平成25年度群馬県高校生等留学説明会

2 課題

(1) グローバル人材の育成を目的とする国際理解教育について、県内各学校への一層の広がりを持たせること

(2) 「群馬県国際戦略」と結び付く東アジア諸国に関する国際理解教育を推進すること

(3) 異文化理解を推進するため、高校生の留学等の一層の促進を含めた国際交流を推進すること

### 3 取組の方向

- (1) 県内各学校において、コミュニケーション能力、主体性、積極性、異文化理解等を備えたグローバル人材の育成を目的として、国際理解教育を更に推進します。
- (2) 総合的な学習の時間における「国際理解」をテーマにした学習が、より目的や趣旨にあった活動となるよう支援に努めます。
- (3) 外国語活動の時間に、語学力の育成を図るとともに、英語圏の文化だけでなく、広く世界の様々な国々や地域の文化を取り上げるなど、グローバル人材の育成に結び付くよう努めます。
- (4) 「群馬県国際戦略」との関連から、関係機関と連携を図った東アジア諸国に関する国際理解教育を推進します。
- (5) 県内高校生の留学を支援し、国際感覚をもった人材の育成を図ります。



中学校の「国際理解授業」の状況

### 4 主な取組内容

- (1) 講師が自身の海外生活体験等を紹介する「小・中学生のための国際理解講座」を一層活用します。
- (2) 総合的な学習の時間や外国語活動の時間における異文化への理解や多文化共生等に結び付く実践例を周知します。
- (3) コミュニケーション能力や異文化理解の育成に結び付くようなALTの活用を進めます。
- (4) 県内の公立私立高校に在籍し留学を希望する生徒を対象に、留学に係る経費補助等の支援を行います。
- (5) 県立高校における姉妹校交流等の海外研修を推進します。
- (6) 国際理解をテーマとした講演、留学幹旋団体からの説明、留学を体験した生徒からの報告、個別相談会等を実施し、高校における留学機運を高めます。
- (7) 小・中・高校の教員を対象に、外国語教育を通じて自国と外国の文化理解を深めるための内容を研修講座に取り入れます。

### 5 達成目標

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
(1) 総合的な学習の時間で「国際理解」をテーマに取り組んでいる小・中学校の割合	44.9%	60%
(2) 高校生の海外研修者数及び留学者数	313人(H24)	400人

### 6 他の施策分野における関連した取組

- (1) 小・中学生を対象に、様々な国の文化・生活について、広く紹介することにより国際感覚を身に付けることを目的とした国際理解講座を行っています。(国際戦略課)
- (2) 県立女子大学外国語研究所の明石康所長(元国連事務次長)を塾長に迎え、平成14年度から「国際舞台で活躍できる、高い志と行動力に富んだ若者を育てる」ことを目的に県内高校から選考された高校生20名程度を対象として約8ヶ月間の実践的な研修を行っています。(県立女子大学)